

1 中小学校の沿革

明治	6.	9	上泉円満寺に「協同館」として創立する。
	18.	7	下河原田村「成文学舎」と合併し「南小林学校」と改称
	20.	3	「南小林尋常小学校」となる。
	23.	4	「下都賀郡中村立高等小学校」を置く
	25.	4	「下都賀郡中村立中等高等小学校」と改称する。
大正	12.	3	校旗樹立
昭和	16.	4	「中村国民学校」と改称
	22.	4	6・3制実施 「中村立中小学校」と改める。
	28.	3	小山市と美田村の合併により「小山市立中小学校」と改称。
	53.	7	新校舎（鉄筋3階建）落成移転
平成	1.	2	屋内運動場完成 落成記念式典挙行
	3.	7	文部省より「平成3年度同和教育推進研究指定校」に指定
	4.	11	文部省指定「同和教育公開研究発表会」実施
	9.	7	コンピューター機器（児童用・教師用）導入
	10.	3	財団法人日本水泳連盟より「平成9年度学童水泳優秀校」として全国表彰される。
	13.	4	「田んぼの学校」推進校となる。
	14.	3	ほたるのピオトープ完成
		6	ほたるのピオトープにほたる飛ぶ。（中地区ほたるを観る会開催）
			「中地区ほたるを観る会」開催。盛会裏に終わる。
	15.	10	合唱部 NHK学校音楽コンクール全国大会「銀賞」受賞
	16.	2	ピオトープ拡張
	18.	1	中地区地域安全ボランティア設立
	18.	8	合唱部 NHK学校音楽コンクール県大会「銅賞」受賞
	19.	3	下野教育美術展PTA連合会長賞受賞
	21.	1	田んぼの学校として教育文化保健体育功労者表彰を受ける。
	23.	7	「ほたるの会」発足10周年記念式典
	24.	4	美田中ブロック小中一貫教育研究始まる。（市教委委嘱）
	25.	11	特別支援学級（自・情）開設
	27.	2	下野教育美術展学校賞（下野新聞社社長賞）受賞
	27.	4	特別支援学級（知的）開設
		5	水車完成披露式
	28.	2	下野教育美術展学校賞（県美術教育振興会会長賞）受賞
		6	新小山市市民病院にて「ほたるのタペ」実施
		12	渡良瀬遊水地会館実践発表
	29.	2	下野教育美術展団体賞（下野新聞社社長賞）受賞
		6	中小産ほたる誕生
	30.	1	下地区理科展にて「うすま川にほたるを戻そう」（市代表）の発表
		3	思川桜の植樹祭（国際ソロプチミスト小山より寄贈）
		4	市よりコミュニティースクールの指定を受ける。学校運営協議会設置
令和	1.	11	体験農園写真コンクール最優秀賞
		12	渡良瀬遊水地会館実践発表
	2.	2	体育館床張替工事完了
		9	全児童分タブレット完備
	3.	1	田んぼの学校20周年記念式典
	4.	2	西側フェンス全面補修
	5.	3	南側地面防草シート設置

3 児童数（令和5年4月1日現在）

学 年	1	2	3	4	5	6	合計
男 子	10	8	11	4	9	8	50
女 子	4	5	4	9	10	5	37
合 計	14	13	15	13	19	13	87
PTA会員	7	5	8	19	18	13	60

4 教職員一覧

職 名	氏 名	校 務 分 掌
校 長	軽 部 泰 司	
教 頭		
教務主任		
学習指導主任		
児童指導主任		
保健主事		
1 学年担任		
2 学年担任		
3 学年担任		
4 学年担任		
5 学年担任		
6 学年担任		
ひまわり(知)担任		
スマイル(情)担任		
養護教諭		
主 事		
労務主事		
TT教員		
特別支援教育サポーター		
学校事務補助員		
図書館司書教諭		
ALT		
【学校医】 内 科：		眼 科：
歯 科：		耳 鼻 科：
薬 剤 師：		

6 中小学校教育目標

強い 賢い 美しい

- 健やかで元気な子
- 自ら学ぶ子
- 思いやりのある子
- 地域を愛する子

7 学校経営方針

「はじめに子どもありき」「教育は人なり」を基本理念とし、持続可能な社会の担い手となる児童の育成のため、全教職員が組織の一員としての自覚と責任感をもち、次の経営方針のもとに**活力ある学校**を築き、教育目標の達成を目指していく。

- 人間性豊かな、たくましく生きる児童の育成を目指した学校経営、新学習指導要領の趣旨や小山市学校教育目標を踏まえ、「生きる力」を育む**本校ならではの特色ある学校づくり**（教育課程経営）に努め、学校の教育力を高めるようにする。
- 豊かな心・健やかな体の育成を図るとともに、児童指導の充実や**あいさつの日常化**に努める。
- 基礎・基本の確実な定着を図るとともに、「**分かる授業**」を展開し、**確かな学力**を身につけるよう学習指導の充実に努める。
- 「**安心感**」と「**わかりやすさ**」を意識した指導に努め、特別支援教育の充実を図る。
- 小・中学校**9年間の子どもの「育ち」や「学び」をつなぎ**、学校運営協議会を中心に教職員、児童、保護者、地域住民が参画し、「**チーム中小**」として共に創る「**共創の教育**」の推進に努める。
- 教職員としての熱意や使命感をもち、人間性と専門的な知識・技能、幅広い教養を習得するため、**自己研修と修養を回り資質・能力の向上に努める。**

8 今年の努力点

- 「生きる力」の育成**
 - ①健康・安全
 - ②確かな学力の育成
 - ③人間関係・豊かな心
 - ④郷土愛
- 安心・安全な学校づくり**
 - ①児童指導の充実
 - ②校内安全体制
 - ③地域との連携
- 教職員の資質・能力の向上**
 - ①授業力の向上
 - ②指導力・教養・人間的魅力の向上
 - ③心身の健康管理
- 地域に信頼される学校づくり**
 - ①学校評価の活用
 - ②地域とともにある学校づくり
 - ③共創の教育の推進

2 学校の環境 および 学校・児童の特色

小山市西部に位置し、栃木市(太平地区)に隣接している。学区の中心を南北に県道南小林栃木線、東西に国道50号線が走っている。学区は田園の広がる自然豊かな土地である。また、県道南小林栃木線に沿うように巴波川が流れている。かつては、蛍の群れが渦を巻いて飛び、柱のように舞った『蛍柱』できる蛍の名所であり、蛍橋の名の由来にもなっている。

また一方では、学区内には県南公設地方卸売市場やいちごの里等の商業施設、三福酒造や杉田酒造といった造り酒屋、歌人田波御白の生家、下泉古墳群などがあり、歴史や伝統・文化にも恵まれている。

児童は明朗で学習意欲も高まっている。また、学年・男女を問わず仲良く遊び、素直で子どもらしくのびのびと育てている。家庭は、三世帯家庭が多く、祖父母との触れ合いも多い。学校教育にも協力的である。

学校は「自治会連絡協議会」「田んぼの学校」「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」「安全ボランティア」「学習支援ボランティア」を中心としたコミュニティースクールを展開し、地域と一体となった「社会に開かれた教育課程」の実践を努めている。

5 PTA本部役員・常任理事等一覧

本 部		常 任 理 事	
会 長		南小林	
		川 入	
		上 泉	
		下 泉	
		井 岡	
		小 袋	
		下河原田	
		生 駒	
		大川島	
		下畑・野	
副会長			
顧問			
監 査			

9 中小スローガン

3つの「あ」

あんぜん あいさつ あとしまつ

目 指 す 学 校 像

「楽しくて笑顔いっぱいの学校」
～「感動いっぱい 夢いっぱい」～

